

STAGE+を楽しむ(73)(HP 収載)
—ルービンシュタインのリサイタル—

1. 始めに

前報(72)に引き続き、STAGE+のルービンシュタインのコンサートヘボウでのリサイタルの演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、ルービンシュタインのコンサートヘボウでのリサイタルの演奏を選びました。

ルービンシュタイン、コンサートヘボウでのリサイタル

収録日: 1973年8月31日

2024年1月1日までの期間限定

89歳で引退するまで約80年にわたって精力的に演奏活動を行った巨匠の、まさに円熟の極みといえる演奏をお届けします。1973年に当時89歳だったルービンシュタインがコンサートヘボウのホールで、レパートリーの中核だったショパン、シューベルト、ブラームスらロマン派の小品を、大家の風格あふれる表現で雄弁に紡ぎ出します。ベルナルト・ハイティンクが指揮するロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団と共演した、ベートーヴェン&ブラームスのコンチェルトとのカップリングで収録され、以前リリースされていたこともある貴重な映像です。

ソリスト:

アルトゥール・ルービンシュタイン (ピアノ)

曲目:

ヨハネス・ブラームス 3つの間奏曲 Op. 117

ヨハネス・ブラームス 8つの小品 op. 76

フランツ・シューベルト 4つの即興曲 D. 899

フレデリック・ショパン スケルツォ第2番変ロ短調 op. 31



3. 試聴の経過

ルービンシュタインの演奏は、1966 年来日時時の武道館の演奏を聴いていますし、アナログ盤もありますので懐かしい思いで聴きました。

ブラームスの3つの間奏曲と8つの小品は、初めて聴くものですが、ルービンシュタインが弾くとブラームスの小品も詩情あふれるものとなります。

シューベルトの4つの即興曲は、お馴染みの曲ですが、転がるような高音が美しく響きます。

ショパンのスケルツォ第2番は、これもお馴染みの曲で、これぞルービンシュタインのショパンという神髄を聴くような印象です。

1973年の収録ですが、どの曲も予想外に音がよく、ルービンシュタインらしい演奏であることが確認できます。



4. まとめ

以上の STAGE+配信は、追加の LAN iSilencer の効果も加わって、ブラームス、シ

ユーベルトとショパンの小品のいずれもルービンシュタインの詩情あふれる演奏を聴くことができました。

以上